

2017年11月23日

## 日本バレーボール協会基本方針（骨子）

3期連続で会長が交代する事態を招いた日本バレーボール協会（以下、JVA）への世間の不信感をどの様に払拭するかが喫緊の課題である。そのためには、JVA内外関係者の相互信頼関係の再構築に注力し、2020東京オリンピックに向けバレーボール界が心をひとつに団結することが最も大切である。また、これらの取組みをより丁寧に情報発信をしていく事が求められている。

喫緊の課題解決に向けた事業運営のキーワードは、「強化」「普及」「連携」であるとする。これら3つの柱をベースとした基本方針（骨子）と、それを実現するための施策を以下の通り提示する。JVAだけにとどまらずバレーボール関係者が一丸となり課題解決に向けて今後努力して参りたい。

### <基本方針骨子>

#### 1. 公益財団法人としての透明性の確保

ガバナンスの確立、コンプライアンス強化をはじめとする組織の厳格な運営、適切な情報開示

#### 2. JVA 運営における目的と手段の明確化

JVA が解決しなければならない課題や目標を明確にし、それを達成するための具体的な手段を確立する

#### 3. JVA と加盟団体とのコミュニケーションの促進

加盟団体との連携強化、JVA・加盟団体が果たすべき役割の明確化、情報の共有 (HP等)<sup>提示</sup>

#### 4. 「2050年構想」と「中期計画」

「2050年構想」… 2050年構想を「バレーボール界の将来のあるべき姿」と位置付け、引き続き実現を目指す。

「中期計画」…… 2050年構想を実現するための5年毎のステップと位置付け、中期計画を策定・実行する。

但し、既存の2016～2020年度中期計画については、新体制のもと各加盟団体へのヒヤリングも踏まえ、必要に応じて見直しと修正を加える。

<基本方針を推進するための施策>

● 「強化」

- 6人制・ビーチ
- ・ 2020 東京オリンピックに向けた年次毎の強化計画の策定と確実な実行  
特に 20 歳前後の若手の特別強化に力を入れる
  - ・ ビーチバレーボール事業の特別強化、普及のための実行計画の策定  
東京五輪までの年次毎の実行計画を策定し確実に実行  
(特に加盟団体との連携・協力体制を明確化する)

● 「普及」

- 指導者育成  
指導者不足
- ・ 競技人口の拡大 (競技者育成・指導者育成)  
加盟団体との連携強化、加盟団体との役割分担の明確化  
指導者不足 (コーチ) の解消、中学世代の育成
  - ・ 加盟団体の課題集約  
具体的事業 (大会、バレーボール教室等) の企画・実行策の検討 (費用・負担・対価)

● 「連携」

- ・ 加盟団体とのコミュニケーションの促進と JVA の安定経営のための施策の検討
  - (1) 加盟団体への納得性ある施策の明示、透明性の確保  
ブロック理事長及び全国連盟代表者との連携強化  
各ブロック理事長会議への参画機会の拡大
  - (2) 評議員会のあり方の検討
- ・ JVA と日本バレーボールリーグ機構は、バレーボールに関わる全ての分野において垣根を作ることなく「連携」し、「強化」と「普及」の推進に邁進する。

- ユース・ジュニア世代の育成強化、またインドアバレーからの転向選手サポートといった強化事業から、国際舞台で活躍するトップ選手を輩出するために、一貫強化システムを構築する。
- 中長期的な観点の下、普及と連携を図った有望選手の発掘も含め、持続力のある強化システムとして強化の基盤を整備する。

## U19・21ナショナルチーム設置

▷ 近年の情勢としてユース世代からの早期強化が進んでいる。日本ビーチバレーボール界としても将来的に国際舞台での活躍が期待される選手を育成・強化するため、アンダーカテゴリーのナショナルチームを設置し、有望選手の発掘と早期強化を図る。



有望選手の発掘

▷ 普及と強化の循環を図り、これまでビーチバレーボールに触れたことのないプレイヤーにその機会を創出する。強化の基盤として、有望選手の発掘と早期強化に改めて着手する。

【有望選手強化】

- ◆ 年代別強化指定選手

【ユース育成】

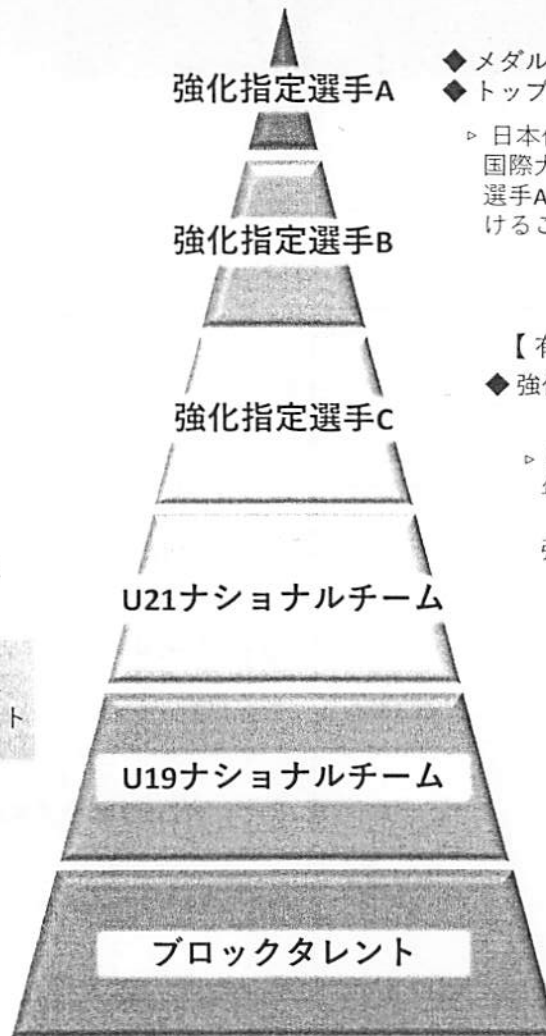
- ◆ 年代別強化指定選手
- ◆ 広域ブロックタレント

## 国体少年種別への変更

▷ 2017年愛媛国体より正式競技での実施となったが、代表強化につながる若年層への競技普及とプレイヤー育成を目的とし、2019年茨城国体から少年種別での実施を計画している。



有望選手の発掘



【代表強化】

- ◆ メダルポテンシャルアスリート
  - ◆ トップアスリート
- ▷ 日本代表チームの一員として、国際大会を転戦する。強化指定選手A・Bに応じたサポートを受けることができる。



【有望選手強化】

- ◆ 強化アスリート

▷ 強化拠点にて専任コーチの下、年間を通して強化活動を行う。また強豪国拠点と連携を図り、強化合宿を実施する。



強化センター：川崎マリエン



競技別強化拠点：2018年2月選定予定  
※写真は別の屋内ビーチコート施設

有望選手の発掘

## 転向選手サポート(仮称)

▷ 有望なインドア選手(Vリーグ・大学)のビーチバレーボール転向をサポートする強化事業である。選考を行い、専任コーチの下での活動などサポートを受けることができる。

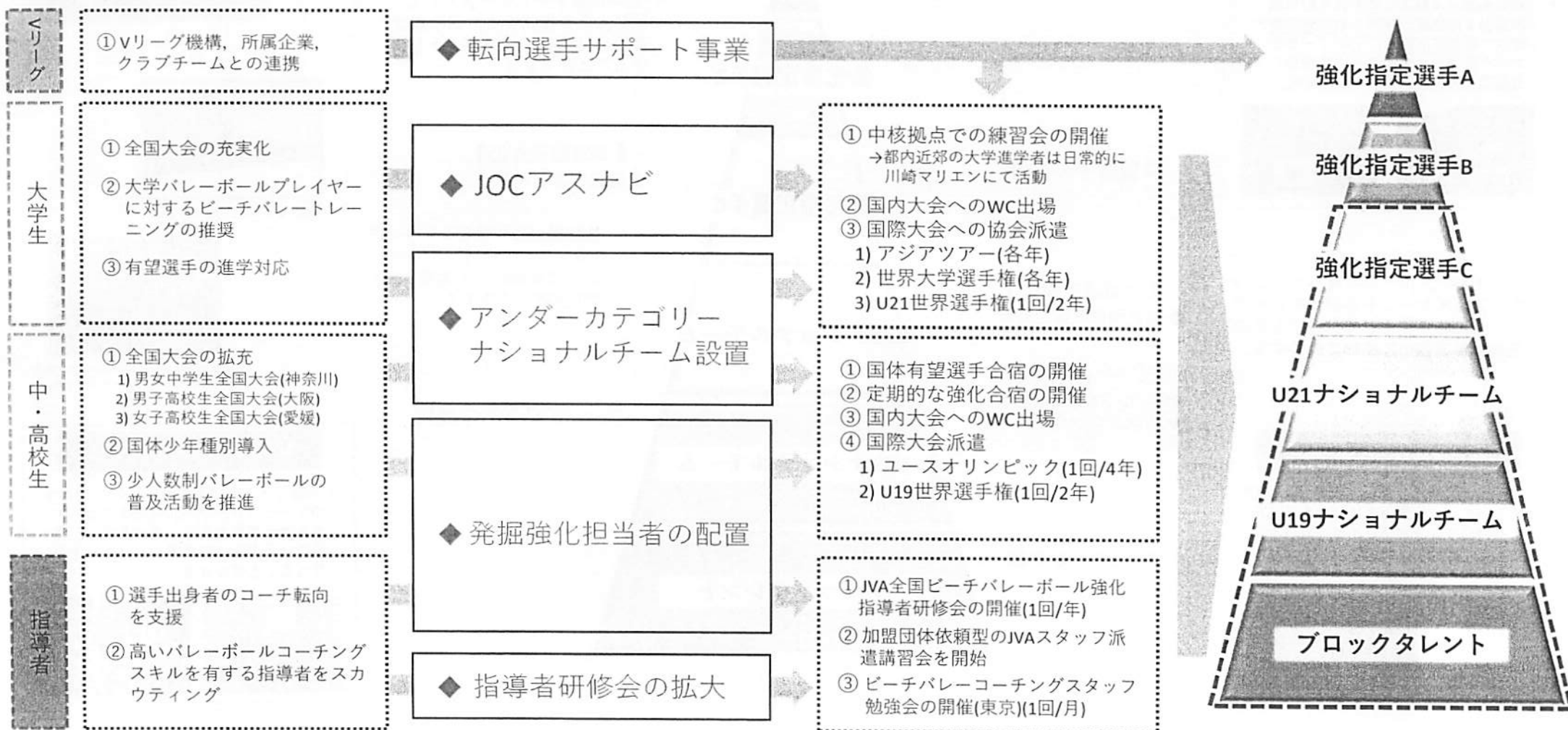


□ 我が国におけるビーチバレーボールの競技普及には、環境面の課題としてビーチコートの整備はもちろんのこと、新たなプレイヤー・ならびに指導者の獲得と育成が急務である。そこで、有望選手の発掘・育成と、中核拠点での強化がつながりのある展開をとれるよう「発掘－育成－強化」を一つの枠組みとしてとらえ、推し進めていく。

## 発掘

## 育成

## 強化



2017年11月23日

拡大加盟団体代表委員総会資料

東京 2020 準備室  
室長 林 孝彦  
JVA 東京オリンピック・パラリンピック競技大会準備委員会  
委員長 下山 隆志

## 東京 2020 オリンピック・パラリンピック準備状況報告及びお願い

### 1. 開催期間及び競技日程・参加チーム数・競技会場

2020年7月24日(金)「開会式」から8月9日(土)「閉会式」

#### 【競技日程】(案)

バレーボール競技：7/25(土)から8/9(土) 男女各12チーム(1カ国、1チーム)

ビーチバレーボール競技：7/25(土)から8/8(金) 男女各24チーム(1カ国、最大2チーム)

#### 【競技会場】

バレーボール競技：有明アリーナ

ビーチバレーボール競技：潮風公園

### 2. 大会ボランティアについて(案)

#### (1) 応募条件

- ① 2020年4月1日時点で満18歳以上の方 現大学1年生
- ② ボランティア研修に参加可能な方
- ③ 10日以上活動できる方
- ④ 日本国籍を有する方または日本に滞在する資格を有する方

#### (2) 選考のプロセス

- ① 応募期間：2018年8月から11月
- ② 書類選考：2018年9月から12月
- ③ 面接：2019年2月から4月
- ④ 役割・会場通知：2020年2月
- ⑤ シフト通知：2020年3月から4月

#### (3) 処遇・サービスレベル

- ① 活動時間：8時間/1日
- ② ユニフォームを支給

### 3. NTO(審判員及び技術統計判定員等)について ※有資格者

JVA 審判規則委員会及び情報企画委員会等と連携し、依頼させていただきます。

### 4. レガシーについてのお願い

【ご意見のお願い】「2020東京五輪をきっかけとしたレガシーについて」をメール(10/13・11/14付)にてお送りいたしましたので是非、ご意見をお送りください。

### 5. 「参画プログラム」へのご協力をお願い

「東京2020参画プログラム対象拡大に伴うお願いについて」をメール(11/20付)にてお送りいたしました。趣旨をご理解いただき、「申請ガイド」をご一読いただき、お手続きをお願いします。

# JVA 東京オリンピック・パラリンピック競技大会準備委員会

## 【組織・役割】

### 1. 東京 2020 準備室

#### (1) メンバー構成

室長：林 孝彦

副室長：下山 隆志

室員：迫田 義人、灰西 克博、藤野 隆弘、斎藤 聖二

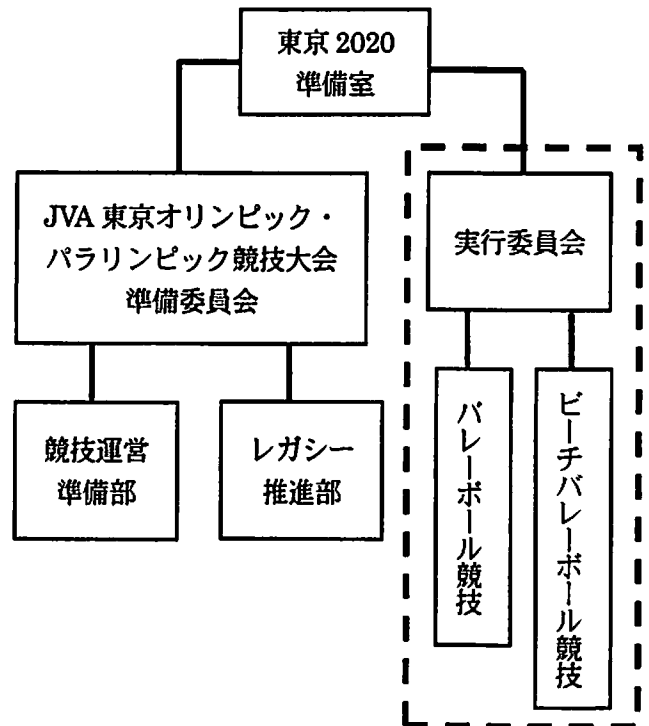
#### (2) 役割

- ① 外部（組織委員会・東京都・FITVB 等）との連携
- ② 委員会の統括

### 2. JVA 東京オリンピック・パラリンピック競技大会準備委員会

#### (1) 委員会の構成

役職	委員会 氏名	競技運営 準備部	レガシー 推進部
委員長	下山 隆志	◎	○
副委員長	迫田 義人	○	
副委員長	藤野 隆弘		
主事	斎藤 聖二	○	
副主事	照沼 佑介		○
委員	鳥羽 賢二		
委員	桐原 勇人		
委員	鍛冶 良則		
委員	荒木田 裕子		○
委員	遠山 友寛		
委員	竹内 浩		
委員	灰西 克博		◎
委員	小田桐 隆司		
委員	村上 成司		○
委員	君島 知喜		



#### (2) 役割

- ① 委員会の中に「競技運営準備部」と「レガシー推進部」を置く
- ② 組織委員会にて組織図が決定し、業務の担当者を決定した後、実行委員会を立ち上げる
- ③ 具体的な業務は委員会及び各部にて行う
- ④ 「競技運営準備部」競技運営組織検討、スケジュール及びボランティア募集、育成等
- ⑤ 「レガシー推進部」人材育成及びバレーボールファミリーの増加策
- ⑥ 委員会での検討した事項を「東京 2020 準備室」へ報告

以上

## 全日本男女チームの強化について

ハイパフォーマンス事業本部

〈東京 2020 とパリ 2024 の目標〉

〈東京 2020 男子：ベスト 4 女子：メダル獲得〉 〈パリ 2024 男子：メダル獲得 女子：メダル獲得〉

〈強化方針〉

<b>ビジョン</b> NFが目指す、将来のある時点での状態	オリンピックならびに国際大会において恒常的にメダル獲得すべく高い水準を目指す (インドア男女はFIVBランキング8位以内/ビーチ男女は15位以内)
<b>ミッション</b> NFとして果たすべき役割・使命・存在意義	国民的スポーツとしてバレーボール競技が包含するすべての事業においてさらなる価値の創出と向上をはかる
<b>バリュー</b> 事業を推進するうえでの共通の価値観	競技者・指導者・支援者がともにアスリート・セントリック(競技者中心主義)とプレイヤーズファースト・ウイニングセカンドの概念(裏面※1)を理解の上広く共有し、ひとつ上のステージに上がるよう強化を推進する

〈2017年-2020年に向けての強化〉

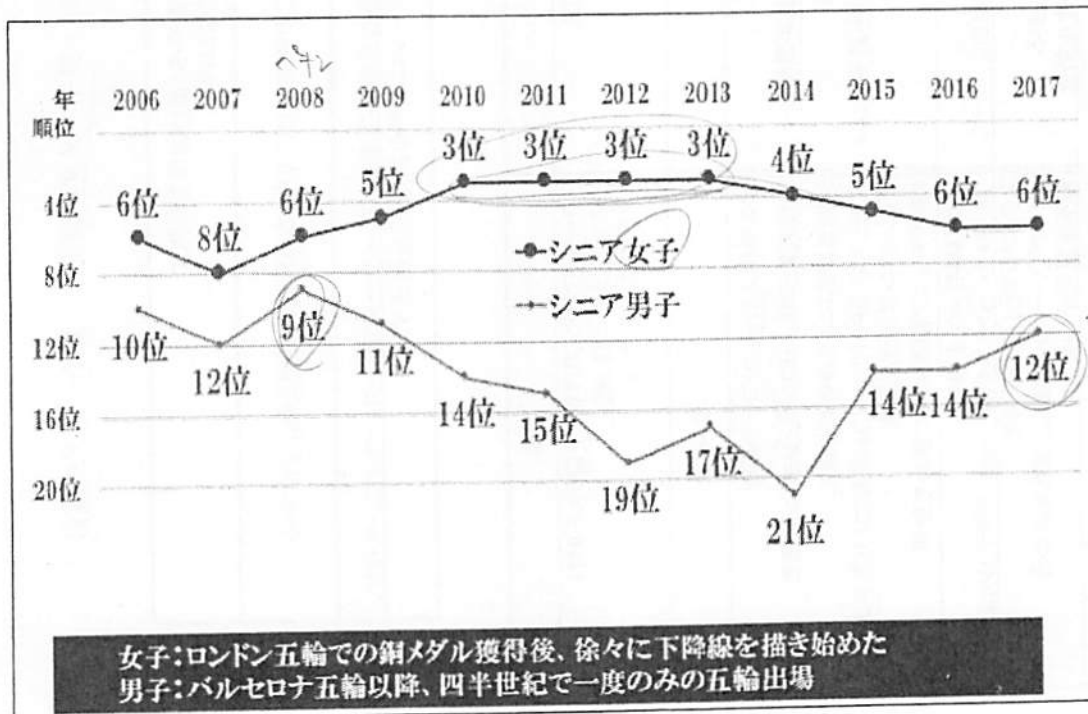
		男子	女子
2017年	2017年度 国際試合結果	ワールドリーグセカンドグループ2位 ・WGCC 6位(0勝5敗) ・アジア選手権優勝 ・世界選手権出場権獲得	ワールドグランプリ7位(予選ラウンド6位) ・WGCC 5位(2勝3敗) ・アジア選手権 優勝
	世界ランキング推移(裏面※2)	14位→12位	6位→6位
	主な具体的取組み	経験豊かなフランス人コーチ採用 大学生の起用、WGCCでは平均年齢が最年少 スタッフのアンダーカテゴリとの兼務 「ONE TAP SPORTS」ソフト導入により選手のコンディショニング管理を実施	初の外国人(トルコ)コーチ招聘 女性スタッフによりコンディショニング強化 栄養士派遣により身体作り強化 「ONE TAP SPORTS」ソフト導入により選手のコンディショニング管理を実施 8選手をシニア国際大会に初めて登用
2018年	2018年度 国際試合目標	世界選手権ベスト8 (新)The Volleyball Nations League 10位 今世	世界選手権メダル獲得 (新)The Volleyball Nations League 決勝ラウンド進出
	課題と今後の取組み	スタッフ役割分担の明確化 Vリーグ(チーム)と同調し、強化をはかる 選手個々の負傷しない頑強なフィジカル創造	スタッフ役割分担の明確化 Vリーグ(チーム)と同調し、強化をはかる 若手有望選手の登用
2020年 に向けて	取組み	2020東京対策プロジェクトの立ち上げ ・テストイベント開催の検討 ・大会期間中の練習場所、エクストラ宿舎確保 他	
		アンダーカテゴリ強化: プロジェクト・コアの再構築	

〈※1 強化理念概念図〉



初心者

〈※2 FIVB 世界ランキング推移〉









## 全日本アンダーカテゴリ男女ナショナルチームの参加大会結果

男子	大会名	大会成績	期間	開催地	個人賞受賞者・備考	
U-19男子	第11回アジア選手権	優勝	3/28~4/5	ミャンマー	宮浦健人 (MVP) 佐伯聖海 (ベストアウトサイドスパイカー賞) 佐藤駿一郎 (ベストミドルブロッカー賞)	全試合ストレート勝ちで ユースアジア選手権初優勝
	第15回世界選手権	3位	8/18~8/27	バーレーン	中村駿介 (ベストセッター賞) 市川健太 (ベストリベロ賞)	10大会ぶりの銅メダル獲得
U-21男子	第19回世界選手権	13位	6/23~7/2	チェコ	※前回大会は14位 ※大陸代表ではなくFIVB推薦枠で出場	
U-23男子	第2回アジア選手権	準優勝	5/1~5/9	イラン	大宅真樹 (ベストセッター賞) 勝岡将斗 (ベストアウトサイドスパイカー賞)	
	第3回世界選手権	6位	8/18~8/25	エジプト	※過去2大会は世界選手権の出場権獲得できず ※15点7セット制などテストルール運用実施	
ユニバ男子	東アジア地区選手権	優勝	5/20~5/25	モンゴル	大竹孝青 (MVP) 松井泰二 (ベストコーチ)	2大会連続の金メダル獲得
	ユニバーシアード競技大会	3位	8/20~8/29	台北		2大会ぶりの銅メダル獲得

女子	大会名	大会成績	期間	開催地	個人賞受賞者・備考	
U-18女子	第11回アジア選手権	優勝	3/5~3/13	中国	西川有喜 (MVP・ベストアウトサイドスパイカー賞) 水杉玲奈 (ベストリベロ賞)	全試合ストレート勝ちで ユースアジア選手権6連覇
	第15回世界選手権	5位	8/18~8/27	アルゼンチン	※前回大会は9位	アジア勢トップの5位
U-20女子	第19回世界選手権	3位	7/14~7/23	メキシコ	松井珠己 (ベストセッター賞)	2大会ぶりのメダル獲得
U-23女子	第2回アジア選手権	優勝	5/13~5/21	タイ	山内美咲 (MVP) 杉郁香 (ベストミドルブロッカー賞) 櫻井美樹 (ベストセッター賞)	初のアジア選手権制覇
	第3回世界選手権	9位	9/10~9/17	スロベニア	※15点7セット制などテストルール運用実施	
ユニバ女子	VTVカップ	優勝	7/8~7/15	ベトナム	今村優香 (MVP・ベストスコアラー賞) 山内美咲 (ベストオポジット賞) 柴田真果 (ベストセッター賞) 小島満菜美 (ベストリベロ賞)	失セット0で完全優勝
	ユニバーシアード競技大会	準優勝	8/20~8/29	台北		11大会ぶりの銀メダル獲得

## 全日本シニア男子・シニア女子 ナショナルチームの参加大会結果

大会名	大会成績	期間	開催地	個人賞受賞者・備考	
 ベスピオカップ (親善大会)	1勝1敗	5/27～5/29	イタリア	※イタリア、アルゼンチンと親善試合	
FIVBワールドリーグ2017 グループ2	準優勝	6/2～6/25	スロバキア 高崎 中国 オーストラリア		
2018男子世界選手権 アジア最終予選	優勝	7/12～7/16	オーストラリア	<b>全勝で2大会ぶりの世界選手権出場権獲得</b>	
全日本 シニア男子 世界ランク12位	第19回アジア選手権	優勝	7/24～8/1	インドネシア	藤井直伸 (ベストセッター賞) 李博 (ベストミドルブロッカー賞) <b>2大会連続9回目のアジア制覇</b> 石川祐希 (MVP・ベストアウトサイドスパイカー賞)
ワールドグランド チャンピオンズカップ2017	6位	9/12～9/17	名古屋・大阪	井手智 (ベストリベロ賞)	

大会名	大会成績	期間	開催地	個人賞受賞者・備考	
 FIVBワールドグランプリ2017 グループ1	7位	7/7～7/23	オランダ 仙台 香港		
全日本 シニア女子 世界ランク6位	第19回アジア選手権	優勝	8/9～8/17	フィリピン	岩坂名奈 (セカンドベストミドルブロッカー賞) 小幡真子 (ベストリベロ賞) <b>5大会ぶり4度目のアジア制覇</b> 新鍋理沙 (MVP)
ワールドグランド チャンピオンズカップ2017	5位	9/12～9/17	東京・名古屋	富永こよみ (ベストセッター賞) 井上琴絵 (ベストリベロ賞)	

全日本シニア男子・シニア女子 国内開催大会での各試合結果



全日本  
シニア男子  
世界ランク12位

月日	開始時刻	対戦カード	結果	DIP	時間	開催地	会場	観客数	放送局	放送時間	視聴率
FIVBワールドリーグ2017											
6月9日(金)	19:10~	日本×トルコ	○3-1	4.75	1:57	群馬県	高崎アリーナ	5,600	TBS	BS-TBS:生放送 地上波:25:20~	---
6月10日(土)	19:10~	日本×スロベニア	○3-2	0.21	2:25	群馬県	高崎アリーナ	6,500	TBS	BS-TBS:生放送 地上波:26:08~	---
6月11日(日)	19:10~	日本×韓国	○3-0	6.33	1:17	群馬県	高崎アリーナ	6,500	TBS	BS-TBS:生放送 地上波:25:50~	---
FIVBワールドグランドチャンピオンズカップ2017											
9月12日(火)	19:15~	日本×アメリカ	●0-3	7.66	1:34	愛知県	日本ガイシホール	8,000	日本テレビ	生放送	9.5%
9月13日(水)	19:15~	日本×フランス	●0-3	4.66	1:27	愛知県	日本ガイシホール	8,000	日本テレビ	生放送	8.3%
9月15日(金)	19:15~	日本×イタリア	●1-3	1.75	2:22	大阪府	大阪市中央体育館	8,000	日本テレビ	生放送	9.5%
9月16日(土)	19:15~	日本×イラン	●1-3	4.50	1:58	大阪府	大阪市中央体育館	8,200	日本テレビ	生放送	8.7%
9月17日(日)	18:15~	日本×ブラジル	●0-3	7.00	1:32	大阪府	大阪市中央体育館	8,200	日本テレビ	生放送	6.9%



全日本  
シニア女子  
世界ランク6位

月日	開始時刻	対戦カード	結果	DIP	時間	開催地	会場	観客数	放送局	放送時間	視聴率
FIVBワールドグランプリ2017											
7月14日(金)	19:10~	日本×タイ	○3-1	2.75	1:42	宮城県	カメイアリーナ仙台	2,950	NHK BS	生放送	---
7月15日(土)	14:10~	日本×セルビア	●0-3	4.66	1:27	宮城県	カメイアリーナ仙台	3,650	フジテレビ	録画:15:00~	---
7月16日(日)	13:15~	日本×ブラジル	○3-2	0.86	2:24	宮城県	カメイアリーナ仙台	3,900	NHK総合	生放送	---
FIVBワールドグランドチャンピオンズカップ2017											
9月5日(火)	19:15~	日本×韓国	○3-0	2.66	1:45	東京都	東京体育館	10,000	日本テレビ	生放送	11.4%
9月6日(水)	19:15~	日本×ロシア	●1-3	2.25	2:14	東京都	東京体育館	10,000	日本テレビ	生放送	10.6%
9月8日(金)	19:15~	日本×ブラジル	○3-2	3.26	2:26	愛知県	日本ガイシホール	8,000	日本テレビ	生放送	11.4%
9月9日(土)	19:15~	日本×アメリカ	●2-3	1.30	2:40	愛知県	日本ガイシホール	8,000	日本テレビ	生放送	14.1%
9月10日(日)	18:15~	日本×中国	●1-3	4.25	2:03	愛知県	日本ガイシホール	8,000	日本テレビ	生放送	11.7%

※DIPは試合の拮抗度合いを示す値(値が小さいほど試合における両チームの点差が僅差であることを示す)

※視聴率は関東エリア



Our Sports, My Volleyball!

公益財団法人日本バレーボール協会

2017年11月23日

都道府県バレーボール協会  
理事長、専務理事 殿公益財団法人日本バレーボール協会  
国際事業本部 本部長 小田桐 隆司

## FIVB バレーボールネーションズリーグ 2019年2020年開催希望のお伺いについて

謹啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素よりバレーボール界の普及、発展、運営にご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2018年よりスタートするFIVB（国際バレーボール連盟）主催の国際大会『FIVB バレーボールネーションズリーグ（男女大会）』の2019年、2020年日本大会開催を計画するため、開催希望のお伺いをさせていただくことといたしました。

ご存じのように、国際大会開催に際してはFIVBが定める試合会場、練習会場等の諸条件、諸規格、宿泊施設と輸送計画の条件等々が満たされなくてはなりません。まずは開催希望の有無について、お伺いしたいと思います。

皆様方におかれましては公私ご多忙の折誠に恐縮とは存じますが、資料を参考に、別紙回答票にて12月20日（水）までにご回答下さいますようお願い申し上げます。

なお、具体的な開催条件（施設面、経済面）については、公募の結果により、希望のあった開催地の中から諸条件を考慮して調整をさせていただく予定です。

謹白

追伸

ご質問等がございましたら、国際業務部までご連絡ください。

メール：international.events@jva.or.jp

以上



## 大会概要

### ■ネーションズリーグ

2017年まで開催された『男子ワールドリーグ』、『女子ワールドグランプリ』に代わり2018年より新設されるFIVB主催のバレーボール国際大会。

コア12チームにチャレンジャー4チームが加わり、16チームによる世界規模のリーグ戦となる。

2018年は第1回大会となり、2024年までは、男女日本代表チームはコア12チームのひとつとして参加資格が与えられている。

### ■参加チーム

※下記は2018年参加チーム。チャレンジャー4チームの内最下位のチームはニューチャレンジャーリーグ（下部リーグ）とのホーム&アウェー方式による入れ替え戦が行われる予定。

#### ～男子～

コアチーム：12チーム

ブラジル (BRA)、イタリア (ITA)、アメリカ (USA)、中国 (CHN)、セルビア (SRB)、フランス (FRA)  
アルゼンチン (ARG)、イラン (IRI)、ポーランド (POL)、ドイツ (GER)、**日本 (JPN)**、ロシア (RUS)

チャレンジャーチーム：4チーム

オーストラリア (AUS)、韓国 (KOR)、カナダ (CAN)、ブルガリア (BUL)、

#### ～女子～

コアチーム：12チーム

ブラジル (BRA)、イタリア (ITA)、アメリカ (USA)、中国 (CHN)、セルビア (SRB)、オランダ (NED)  
タイ (THA)、トルコ (TUR)、韓国 (KOR)、ドイツ (GER)、**日本 (JPN)**、ロシア (RUS)

チャレンジャーチーム：4チーム

アルゼンチン (ARG)、ドミニカ共和 (DOM)、ポーランド (POL)、ベルギー (BEL)

### ■大会概要

1. 大会名称 FIVB バレーボールネーションズリーグ〇〇大会  
(英文名称：FIVB Volleyball Nations League 〇〇)
2. 主催 国際バレーボール連盟 (FIVB)
3. 共催 FIVB バレーボールネーションズリーグ大会実行委員会  
公益財団法人日本バレーボール協会 (JVA)  
テレビ局
4. 主管 開催地バレーボール協会



## 資料 (参考)

### ■アリーナ基本必要設備

1. 収容観客数： 5,000人以上
2. 競技エリア： 33m x 42m
3. 天井高さ： 12.5m以上
4. 照度： 2,000ルクス (競技エリア) / 1,000ルクス (観客エリア)
5. 大型ビジョン： 2面 (施設既存設備が望ましい)
6. アップコート： 2面

※ 詳細は開催希望を確認後に協議させていただきます。

### ■2019年 予選ラウンド日程

#### <女子>

- |                     |                                    |
|---------------------|------------------------------------|
| 第1週/5月21日(火)～23日(木) | 参加国：アメリカ (USA)、未定、未定               |
| 第2週/5月28日(火)～30日(木) | 参加国：ドイツ (GER)、ロシア (RUS)、トルコ (TUR)  |
| 第3週/6月4日(火)～6日(木)   | 参加国：中国 (CHA)、イタリア (ITA)、オランダ (NED) |
| 第4週/6月11日(火)～13日(木) | 参加国：セルビア (SRB)、タイ (THA)、ブラジル (BRA) |
| 第5週/6月18日(火)～20日(木) | 参加国：韓国 (KOR)、未定、未定                 |

#### <男子>

- |                      |                                       |
|----------------------|---------------------------------------|
| 第1週/5月31日(金)～6月2日(日) | 参加国：セルビア (SRB)、フランス (FRA)、ロシア (RUS)   |
| 第2週/6月7日(金)～9日(日)    | 参加国：アルゼンチン (ARG)、イラン (IRI)、ブラジル (BRA) |
| 第3週/6月14日(金)～16日(日)  | 参加国：イタリア (ITA)、未定、未定                  |
| 第4週/6月21日(金)～23日(日)  | 参加国：中国 (CHA)、アメリカ (USA)、未定            |
| 第5週/6月28日(金)～30日(日)  | 参加国：ドイツ (GER)、ポーランド (POL)、未定          |

### ■2020年 予選ラウンド日程

#### <女子>

- |                     |                                      |
|---------------------|--------------------------------------|
| 第1週/5月19日(火)～21日(木) | 参加国：ロシア (RUS)、セルビア (SRB)、タイ (THA)    |
| 第2週/5月26日(火)～28日(木) | 参加国：トルコ (TUR)、中国 (CHA)、未定            |
| 第3週/6月2日(火)～4日(木)   | 参加国：アメリカ (USA)、オランダ (NED)、ブラジル (BRA) |
| 第4週/6月9日(火)～11日(木)  | 参加国：ドイツ (GER)、未定、未定                  |
| 第5週/6月16日(火)～18日(木) | 参加国：韓国 (KOR)、イタリア (ITA)、未定           |

#### <男子>

- |                     |                                       |
|---------------------|---------------------------------------|
| 第1週/5月22日(金)～24日(日) | 参加国：アメリカ (USA)、イタリア (ITA)、ポーランド (POL) |
| 第2週/5月29日(金)～31日(日) | 参加国：ロシア (RUS)、フランス (FRA)、未定           |
| 第3週/6月5日(金)～7日(日)   | 参加国：ブラジル (BRA)、イラン (IRI)、未定           |
| 第4週/6月12日(金)～14日(日) | 参加国：アルゼンチン (ARG)、中国 (CHA)、未定          |
| 第5週/6月19日(金)～21日(日) | 参加国：ドイツ (GER)、セルビア (SEB)、未定           |

※ 開催週はまだ決定していません。

宛先： international.events@jva.or.jp

JVA 国際事業本部 宛

**回答票**

※ いずれかに○印をご記入ください。

**F I V B バレーボールネーションズリーグ 2019 年 2020 年大会****( ) 開催を希望する**

※ 希望するに (○) をした場合は以下お答えください。

■開催希望年： 2019 年のみ ・ 2020 年のみ ・ どちらでも ・ 両年

■開催可能週：

(複数ある場合は複数週記入ください)

■想定会場名：

■支援公共団体名： (1) \_\_\_\_\_ (予想 ・ 予定 ・ 確実)

(2) \_\_\_\_\_ (予想 ・ 予定 ・ 確実)

**( ) 開催を希望しない**

協会名	
代表者 (肩書)	
連絡先	
その他	

※ 回答期限：12月20日(水)

  
**FIVB**  
 VOLLEYBALL  
**WOMEN'S WORLD CHAMPIONSHIP**  
**JAPAN 2018**

平成 29 年 11 月 吉日

公益財団法人日本バレーボール協会  
会長 嶋岡 健治

2018 女子バレーボール世界選手権

組み合わせ抽選会のご案内

謹啓 深秋の候 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より本会諸事業にご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、4 年に一度、バレーボールの世界チャンピオンを決定する『2018 女子バレーボール世界選手権』が来年 9 月 29 日から 10 月 20 日まで、全国各地で開催され、各大陸を代表する 24 チーム(裏面参照)が出場いたします。

大会開催に先立ち、組み合わせ抽選会を下記の通り執り行いますので、ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご来場賜りますようご案内申し上げます。

謹白

記

【日時】

2017 年 12 月 7 日(木)

受付開始 12:00 開会 13:00

抽選会終了後、記者会見を行います

【会場】

京王プラザホテル 本館 5F「コンコードボールルーム D」

東京都新宿区西新宿 2-2-1

JR 新宿駅西口より徒歩 5 分 / 都営大江戸線都庁前駅 B1 出口よりすぐ

尚、抽選会にご出席頂けるようでしたら、大変お手数ではございますが、11 月 30 日(木)までに、下記連絡先にお知らせ下さいますようお願い申し上げます。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

公益財団法人日本バレーボール協会・国際業務部(担当:高井)

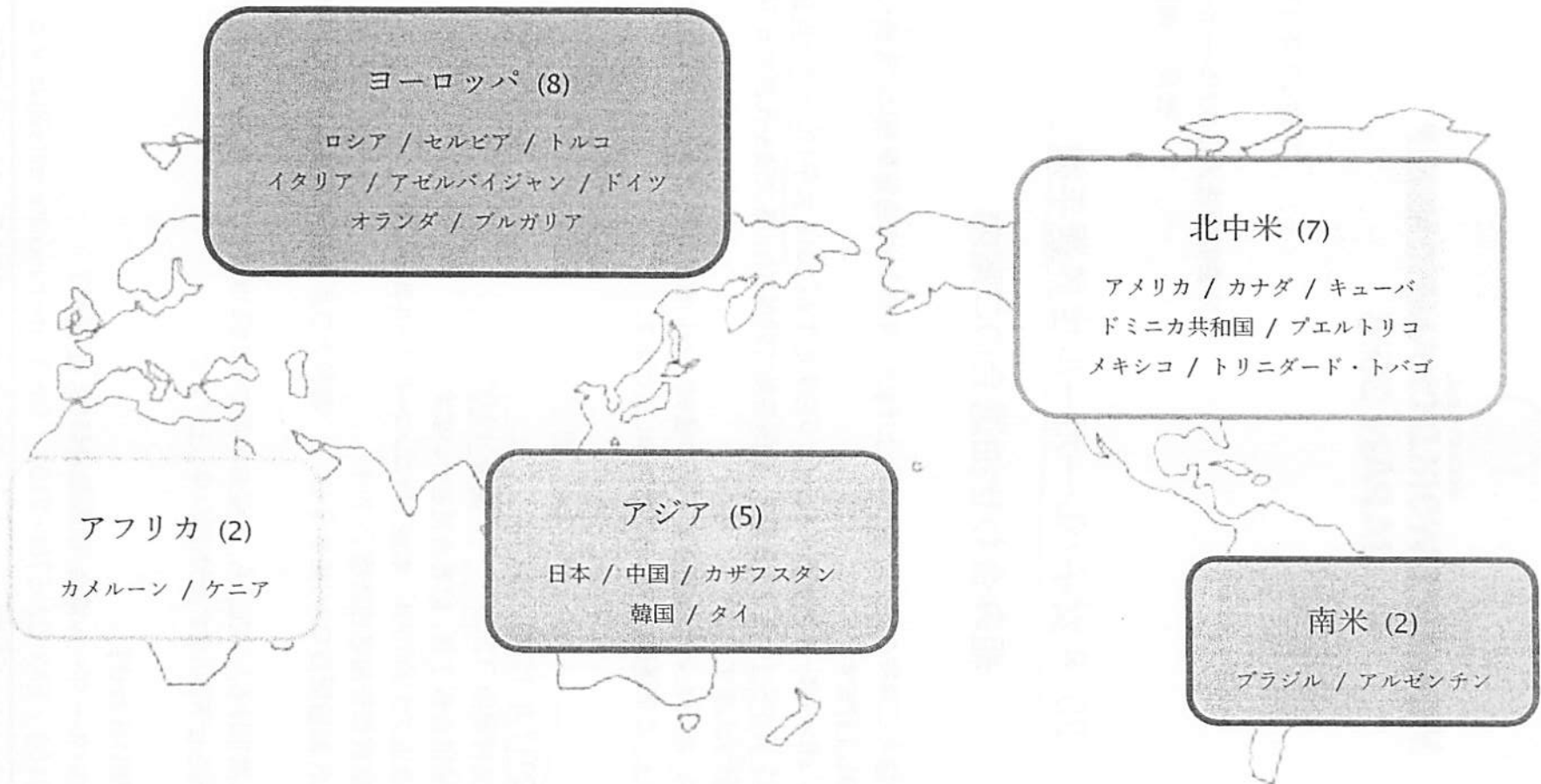
TEL: 03-5786-2100 / FAX: 03-5786-2109 / Email: international.events@jva.or.jp

**Women's World Championship Japan 2018 - Head Office**

5th Floor, 1-30-8, Sendagaya, Shibuya-ku TOKYO 151-0051 Japan

Tel: +81 (0)3 5786 2104 Fax: +81 (0)3 5786 2109 E-Mail: international.events@jva.or.jp





ヨーロッパ (8)

ロシア / セルビア / トルコ  
イタリア / アゼルバイジャン / ドイツ  
オランダ / ブルガリア

北中米 (7)

アメリカ / カナダ / キューバ  
ドミニカ共和国 / プエルトリコ  
メキシコ / トリニダード・トバゴ

アフリカ (2)

カメルーン / ケニア

アジア (5)

日本 / 中国 / カザフスタン  
韓国 / タイ

南米 (2)

ブラジル / アルゼンチン

## 2018 年度からの新 MRS 登録について

### 1. 配賦方式から積算方式への変更について

現状（配賦方式）	変更後（積算方式）
前提：MRS で取扱うのは原則 JVA 登録料のみ。その中には加盟団体に支払われる「配賦金」が含まれる	加盟団体・県連盟が独自徴収する個人登録料・チーム登録料も JVA 登録料とセットで取扱ができる
A) チーム・選手は、MRS 登録に加えて、県協会・県連盟への登録を別途行う必要があり煩雑	チーム・選手は、登録・支払いを MRS で一度に行えて便利になる（すべての登録が MRS 登録で完結）
B) 1 人当り支払額の上限があるため複数所属する登録者には割引となる	JVA 登録料は、現状同様に複数所属者への割引として、すべてのカテゴリーで最高額のみ課す。ただし、1 人の登録者は各加盟団体・県連盟が定める額の合計を支払うため、結果的に増額となる場合がある
C) 加盟団体をまたぐ複数所属者の支払額を団体間で分割するため、加盟団体の受取配賦額が減る	団体側は、自ら設定した単価×人数（またはチーム数）で収入確保できる（単価は一定）
D) 計算が複雑（1 人の支払額について何度も比例配分の計算を行う）	計算がわかりやすい（加算減算のみ）

### 2. JVA 登録料について

配賦の廃止に伴って、JVA 登録料の一部見直しを行いました。選手/スタッフ、JVA 役員、資格保持者などすべてのカテゴリーで最高額のみ支払っていただきます。

... 300 1800 60 60  
 2,000 1,200 400 400

### 3. 複数所属者の支払額について

加盟団体をまたぐ複数所属者の支払額を加盟団体間で分割することがなくなるため、そのような登録者には増額になる場合があります。また、選手・スタッフ、資格保有者や JVA 役員等の複数所属者においても増額になりますのでご理解ください。

### 4. 加盟団体の登録料の取扱いについて

加盟団体は、個人登録料、チーム登録料を任意の金額に設定できます。加盟団体の個人登録料の初期値は、従来の JVA 登録料の配賦金相当額としますが、変更は自由にできます。設定された額が、自動的に加算され、チーム・個人へ請求されます。

### 5. 収納代行手数料の支払者負担、収納代行会社から加盟団体への直接振り込みについて

収納代行手数料は従来 JVA 負担でしたが、加盟団体・県連盟の登録料を MRS で取り扱えるようになることで、収納代行手数料は支払者負担に変更します。また、加盟団体への支払を迅速にするため、収納代行会社から加盟団体へ直接振込を実施します。県協会から県連盟への振込は、県協会にお願いします。

2,000 ~ 500

